



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



ロータリーの心を
Rotary International

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝
事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



1997.9.20 No.4

職業奉仕・米山月間[10月]

職業奉仕月間と米山月間

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝



10月は職業奉仕月間です。

言うまでもなく、ロータリークラブは職業人の結社ですから、職業奉仕はロータリーの原点です。

私たちは自分の職業を代表して、クラブにいることを忘れてはなりません。

職業奉仕には2つ面があります。それは、個人としての職業奉仕と、クラブの奉仕活動です。

私たちは先ず個人として、自分の職務に対し忠実、勤勉かつ有能であること、そして高度に分業化された経済社会、地域社会できちんとその役割を果たすことが大切です。

企業の経営者、管理者、技術者として、あるいは自営でいろいろな仕事をしている方々も、ロータリアンにとって一番大事なことは、模範的な職業人であること、少なくとも模範的になろうと努力していることです。

「四つのテスト」はその指針になります。

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか

、 　いつの世にも人間がやってきたことには、ごまかしや不公平が多く、みんなのためにならぬことや友情を傷つけること、恨みや敵意を持つようなことが、少なからずありました。

「四つのテスト」は、それらを克服し、人間性を回復するためのチャレンジであると思います。

ご承知の通り「四つのテスト」は、昔アメリカのある会社の経営再建指針として出されたものを、1950年にRIが正式にとり入れました。

以来半世紀近く、それは私たちの職業奉仕の「物差し」となり、一人ひとりの「心の掟」として受け継がれてまいりました。

そこには「是非善悪」を判断する人間思考の枠組みがあると思います。

「まじめ」と「けじめ」がなんとなく失われつつある今の日本では、職業倫理の確立が大きな課題です。継続的、集中的で誠実な職業活動は、ロータリアンの必要条件です。

そして、各部門の奉仕活動に参加することはプラス・アルファであり、ロータリアンとしての充分条件をみたすことになります。

クラブによる職業奉仕は、これまでも地域のニーズにあわせ、いろいろな奉仕活動が行われてきました。今後は、更に創意工夫を重ね、会員の技能や専門職を活かし、あるいは異業種交流の促進をはかるため、新しいプロジェクトにとり組んでほしいと思います。

10月の今一つの大切な課題は米山月間です。

米山記念奨学会は、全日本のロータリアンの寄付金を財源とする在日外国人留学生のための民間最大の奨学団体です。

米山梅吉翁は大正9年(1920年)日本最初の東京ロータリークラブを創設されました。

昭和28年(1953年)にその功績を記念して発足した東京RC「米山基金」が、3年後には国内全RCの合同事業として「ロータリー米山記念奨学委員会」となり、同42年(1967年)には「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されて、今日に至っています。

私ども第2760地区でも、毎年大勢の応募者があり、本年度はそのなかから42名を奨学生としてお世話することになりました。

皆さん優秀な学生さんです。文科系、技術系の各分野で、それぞれの国の将来を担う人物として期待され、また日本への理解と国際親善にも、大いに寄与されるものと思います。

今後とも米山記念奨学会に対し、一層のご協力をいただきますようお願い致します。

職業奉仕月間に 因んで

地区職業奉仕委員会
委員長 宮本 昌幸



ロータリーの職業奉仕月間は、ロータリアンが職業を通じて社会で果たすべき独特の指導的役割を強調する月間であります。

その役割をどの程度まで果たせるかは、ロータリアンとして私たち自身が、実業もしくは専門職業界で高い道徳的基準をもっているか、どうかにかかっているのであります。

つまりその基準が高ければ高いほど私たちは、その指導的役割を満遍なく果たすことができるのであり、その基準を保ちそれを更に高めるための重要性は、いくら強調しても強調しすぎるものでないということでもあります。

従来ロータリーの職業奉仕は、個人の職業を通じて社会に奉仕することに重点がおかれてきましたが、1987年に採択されました新方針の中では「クラブと会員両方の責務である」ことが強調されることになりました。

これが地域において親しまれ頼りにされることになれば、職業奉仕の活性化と共に奉仕基盤の向上と主役の求心力が伴い真の発展が期待できるものと存じます。

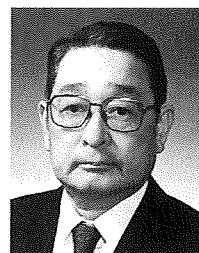
ロータリーは基本的には一つの人生哲学であるともいわれておりますが、それは利己的な欲求と義務および他人のために奉仕したいという感情との間に、常に存在する矛盾を和らげようとするものであります。

職業奉仕の活動は、あくまでも相手のニーズや境遇に対して正当な考慮を払い、謙虚な心で職業倫理を考え、思いやりの心をもって日々奉仕活動に専念すべきであると考えます。

今月はちょうど職業奉仕月間であり、この際人生哲学の実践倫理に基づく、職業奉仕の哲学を更に深めて頂くことにより、確固たる信念をもって行動し貢献できる努力をお願いしたいと存じます。

米山月間によせて

地区米山記念奨学会委員会
委員長 小田 公平



10月の米山月間を迎えるに当たり、地区会員の皆様には大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

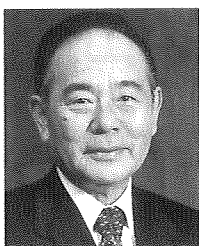
本年5月に開催されました地区協議会において、各米山奨学委員長さんには(財)ロータリー米山記念奨学会の意義、目的、組織について詳しくご説明申し上げます。更に9月22日には「地区米山奨学委員長会議」を、9月28日には、「米山カウンセラー会議と奨学生との懇談会」を開催、それぞれ10月の米山月間に対する準備をいたしました。又9月中旬に各クラブに配布される平成8年度の事業報告書には財務、寄付状況、奨学生状況について詳細に報告されています。ぜひご一読、ご利用ください。

本会は、日本ロータリーの父であり、東京ロータリークラブの創立者である、米山梅吉氏の功績を記念して創設され、基金260万円をもとに海外留学生2名を招致して以来45年間、年々拡大充実を重ね現在は年1,000名を越す留学生のお世話をする、日本最大の民間奨学金団体に成長いたしました。これもロータリアン一人一人の深いご理解と暖いご支援、ご奉仕によって達成されたものと思います。

平成8年度の米山奨学会への寄付額は、普通寄付額5億1千3百万円、前年比2.8%増、特別寄付額15億7千万円、前年比0.6%増、合計20億8千2百万円、1.5%増、会員1人平均寄付額は1万6千円を達成することが出来ました。一方当地区の状況は普通寄付額2千2百万円、6.6%増、特別寄付額7千3百万円、増減なし、合計9千5百万円、1.5%増、会員一人平均寄付額は目標である1万5千円をお陰さまでクリアすることが出来ました。厚くお礼申し上げます。今年度は、地区の会員1人平均寄付額1万6千円達成を目標に、何卒、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

米山月間によせて

地区米山学友会(小)委員会
委員長 各務 芳樹



元米山奨学生間の交流を通じて親睦及び互助を促進すると共に、国際親善及び世界の平和に寄与することを目的とし、合わせて(財)米山記念奨学会の事業の発展に寄与することを目的として、本年度はじめて発足いたしました米山奨学生学友会(愛知)の(小)委員会委員長を委嘱され、何から手をつけたらよいのか困ってしまいました。

幸いにも副委員長の加藤凱也氏が米山記念奨学会の事に関して精通しておられ、古い名簿などをたよりに、正会員(元米山奨学生で原則として地区内に在住する方)56名、準会員(現米山奨学生及び地区外に在住する元米山奨学生)44名、合わせて100名の会員名簿を作り上げていただき住所変更等

についてもかなり正確に把握していただきました。お陰様で去る6月28日夕刻よりメルパルク名古屋において、地区関係役員及び学友会会員40名程出席していただき、盛大に且つなごやかに発会式と懇親会を挙行了しました。

あらためて加藤様はじめ関係地区役員の方々に厚くお礼申し上げます。

漸く、学友会の会長にクネヒト・ペトロ氏(南山大学人類学研究所々員、スイス人)が選任され他に18名の役員も選出されスタートいたしました。

今後は役員会を中心に時々会合を重ね、本来の学友会の集会の他に、新世代のためのロータリー園友会、地区大会など、地区ローター関係の行事にも出席するよう指導してゆくつもりです。

幸いにも、田中パストガバナーのお骨折りにより学友会運営費などについても予算をとっていただき感謝しております。

地区米山記念奨学会委員会年間スケジュール

開催日	開催行事	開催場所
1997年 9月10日(水)	第1回地区米山記念奨学会委員会	名鉄グランドホテル12F 菊の間
9月22日(月)	地区米山記念奨学会委員長会議	名鉄グランドホテル11F
9月28日(日)	地区米山記念奨学会カウンセラー会議及び米山奨学生との懇談会	名古屋国際センター 東天紅
10月 1日(水) ～10月 7日(火)	(財)ロータリー米山記念奨学会奨学生募集期間	
10月 1日(水) ～10月31日(金)	米山月間	
11月 9日(日)	国際ロータリー第2760地区 地区大会	渥美郡田原町 飛鳥船上
12月 5日(金)	1998年度地区米山奨学生第1次書類選考	ガバナー事務所
12月23日(火)	地区米山奨学会奨学生と愛知学友会との懇談会	メルパルク ナゴヤ
1998年 1月 9日(金)	第2回地区米山記念奨学会委員会	名鉄グランドホテル12F 蘭の間
2月 3日(火)	1998年度地区米山奨学生第2次選考試験	名古屋国際センター 5F
2月12日(木)	1998年度地区米山奨学生第3次選考会	ガバナー事務所
2月14日(土)	地区米山奨学生期間満了者と指導教官への感謝の会	名古屋国際センター 東天紅
3月中旬(予定)	第3回地区米山記念奨学会委員会	名鉄グランドホテル12F 蘭の間(予定)
5月中旬(予定)	1998年度米山新奨学生とカウンセラーとのオリエンテーション	未定

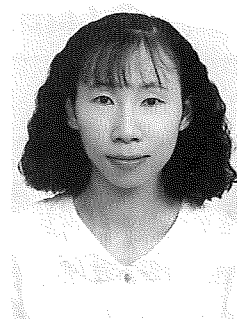
シイ フウ

惜福

名古屋大学大学院
文学研究科日本語文化専攻
博士課程後期課程

リ エン
李 麗燕 (台湾出身)

世話RC：一宮中央ロータリークラブ



先日、友達に頼まれて、中国福建省からの不法入国者の通訳として、拘置所へ行ってきました。その日、家に帰ってから、なぜか、誰かに、「あること」を伝えたくて……。

貧しい村に生まれた1人の男性、Aさん—私と同じような年齢—には、奥さんと子供3人がいます。いや、「子供4人がいました」と言うべきです。なぜなら、そのうちの1人の男の子が病気で亡くなったからです。病名は「白血病」だそうです。「あなたのような経済能力のない人は、この子のためにお金を使わないで、早く諦めた方がいい」と、お医者さんに言われたAさんは、諦めませんでした。「納得できないし、負けたくない」と、Aさんが言いました。しかし、Aさんは負けたし、医療費のために膨大な借金もしました。空港の建設のために所有していた土地の殆どを安い値段で買収されたAさんは、農業で生計を立てることができなくなったため、別の仕事を捜すしかありませんでした。しかし、貧しい村では仕事を捜すのは簡単なことではありません。そこで、膨大な借金を一日も早く返すために、「出稼ぎ」を考えるようになりました。そして、Aさんが出稼ぎをしようとしたところは私の留学先—日本です。そのルートは「密入国」です。

「金稼ぎ」—これは、おそらく、貧しい村に生まれた密航者たちが経済的に豊かな日本に来る目的だと思われます。密入国は法律に違反することですから、当然、よくないし、やるべきことでは

ないですが、密航者にして見れば、このような「よくないこと」「やるべきではないこと」は、「しょうがないこと」になるかもしれません。

現在、Aさんは逮捕されて、不法入国者として訴えられています。「家族は私の収入をあてに生活しています。現在、私が逮捕されて収入が全然ないので、家族がどうやって生活しているか、とても心配です。また、お金を貸してくれた人たちに借金を返さないためにどこかに隠れていると思われるので、一日も早く国に帰って働きたいのです。」と、Aさんは話しました。

貧しい村に生まれた人たちは、「しょうがない」という理由で、豊かな社会の人たちにとっての「よくないこと」「やるべきではないこと」をやってしまうことがあります。涙をこぼしながら亡くなった子供のことを話しているAさんを見て、「幸い、私はその貧しい村に生まれた人ではない」と、自分のシアワセを感じるようになりました。なぜなら、貧しい村に生まれたのはAさん自身でコントロールできることではないし、豊かな社会に生まれたのも私と貴方がコントロールできることではないからです。従って、上のAさんのことは私の伝えたい「あること」ではなく、私が伝えたいのは、「^{シイフウ}惜福」ということです。「^{シイフウ}惜福」とは、私の好きな中国語の座右の銘で、「目の前のシアワセを大切にする」という意味です。これは、おそらく、恵まれた環境にある私たちががついつい忘れがちになることではないでしょうか。

ロータリー 米山記念奨学会報告



理事 田中 徹

ロータリアン各位には格別のご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

地区の現況と理事会協議事項についてご報告します。

1. 寄付金納入状況（1996年7月～97年6月）

（イ）普通寄付	22,073,750円
特別寄付	73,308,310円
地区合計	95,382,060円
会員1人当たり平均	15,020円
（全国1人当たり平均	16,003円）

（ロ）新米山功労者	160名
特別米山功労法人	1 法人
米山功労法人	8 法人
ファンドフェロー	139名

2. 地区奨学生一覧（1997年度）

YMD・YU	新規 13名	継続 14名	計 27名
DiSY-B	新規 9名	継続 5名	計 14名
CY		1名	総計 42名

3. 理事会、評議員会報告

（イ）1997（平成9）年度

地区選出理事	田中 徹
地区選出評議員	犬飼 栄輝
〃	内藤 明人
〃	松本 宏

以上の如く承認されました。よろしくお願いいたします。

（ロ）（財）米山梅吉記念館への特別寄付について
監督官庁の認可が得られれば今回に限り5000万円を本会より寄付すること可決。

（ハ）1999学年度より実施する制度の改訂について

* DiSY-Bを廃止してロータリークラブ所在国（36地域、154ヶ国）と以前にRC. が所在した国（23ヶ国）と非RC.（14ヶ国）とを区別せず国籍を問わず申し込み資格を与える。

（承認）

* 大学推薦制度の実施

地区で地区内の大学推薦の指定校を指定し、大学より推薦を受け（推薦数は新規採用数の2倍とする）これを地区で選考決定する。過去3年間に申し込み実績のない大学は指定校としない。また合格者の国籍割合は3%以内とする。（保留）

但しこの制度の改訂には意見が多く、学務委員会及び常務理事会でさらに検討し次の理事会（12月1日）に再提出されることになった。

（ニ）平成9年度（1997年7月～1998年6月）奨学生採用予定数

Y及びDiSY-B	1010人
CY	50人
SY-1	15人
SY-S	10人
調整枠（台湾、韓国の学友会）	15人
総計	1100人

1997学年度は総計 996人である。

（ホ）ロータリー米山記念奨学会の専門部会に地区から下記の2名が指名された。

広報部会	河合 利周	名古屋北RC
学友部会	田中 徹	半田RC

以上ご報告します。よろしくお願いいたします。

特別寄付報告書 (1997年7月分)

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理 事 長 末永 直行

第2760地区

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合計	件数
渥 美	60,000	0	0	60,000	1件
碧 南	0	300,000	0	300,000	1件
稲 沢	0	500,000	0	500,000	3件
一 色	300,000	600,000	0	900,000	3件
名 古 屋	0	270,000	30,000	300,000	3件
名 古 屋 北	0	150,000	0	150,000	1件
名古屋名東	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 港	0	240,000	0	240,000	1件
名古屋瑞穂	0	780,000	0	780,000	26件
名 古 屋 栄	0	720,000	0	720,000	24件
西 春 日 井	100,064	0	0	100,064	1件
岡 崎	0	200,000	0	200,000	19件
岡 崎 東	12,812	60,000	0	72,812	3件
岡 崎 城 南	120,000	0	0	120,000	1件
岡 崎 南	0	130,000	0	130,000	9件
瀬 戸	0	300,000	0	300,000	1件
高 浜	1,370	0	0	1,370	1件
豊 橋	0	90,000	0	90,000	3件
豊 橋 東	0	10,000	0	10,000	1件
豊 橋 北	0	30,000	0	30,000	1件
豊 橋 南	0	10,000	0	10,000	1件
合 計	594,246	4,690,000	30,000	5,314,246	

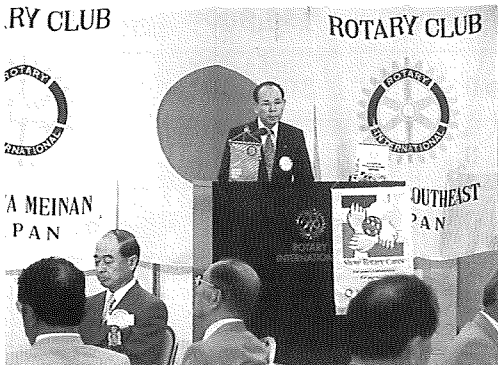
公式訪問始まる！

8月19日の名古屋東南・名古屋名南RCの合同例会を皮切りに公式訪問が始まりました。

今年度は、地区リーダーシッププランのもと、13の夜間例会を含む、35の合同例会（名古屋RC、蒲郡RCは単独）となります。
よろしくお願い申し上げます。



●名古屋東南ロータリークラブ

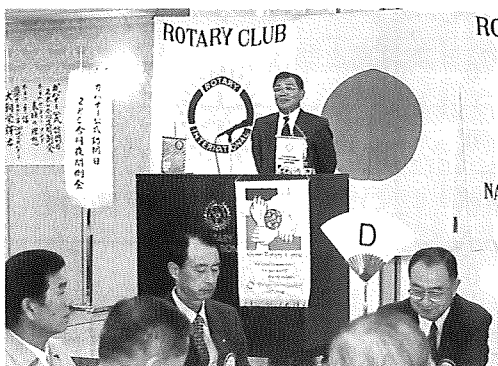


●平成9年8月19日(火)
●名鉄グランドホテル

●会 長／久野 博淳
●幹 事／熊谷 多津旺
●会員数／92名

さる8月19日犬飼ガバナー、堀田名古屋第一分区代理、片山地区幹事をお迎えし、名古屋名南クラブとの合同夜間例会「ガバナー公式訪問」が開催された。開会に先立ち会長幹事協議会では、ガバナーより「本年度ガバナーズクラブ、次年度地区大会ホスト、並びに創立30周年と事業がやまずみされている。会員全員の協力を得て、積極的に会員増強を展開し、120名に」また「年4回の家族会、4つの合同委員会の継続を」とのご指摘をいただいた。そして例会ではスピーチの最後に「ロータリーの心」に通じる、星野富弘氏の詩をご披露され、出席した会員に感動を与えた。さらに懇親会では犬飼ガバナー自ら、すべてのテーブルを回られるなど、充実した、大変なごやかな公式訪問となった。

●名古屋名南ロータリークラブ



●平成9年8月19日(火)
●名鉄グランドホテル

●会 長／伊藤 圭一
●幹 事／川辺 清次
●会員数／91名

去る8月19日、今年度初めてのガバナー公式訪問が、親クラブである東南RCと我が名南RCとの合同例会に来訪された。

犬飼ガバナーは東南RC所属であられるし、毎年合同例会も行われており顔見しりの方も多数おられ、ガバナー訪問だからといって特に緊張感もなく、又、ホストが順番で東南クラブであった事もあり始終、和やかな雰囲気で行進した。

むしろ一週間前に来訪された堀田第一分区代理に色々のご指導いただいた事もあり、こちらとしては準備万端、整えた勢いもあったと思います。

特に我がクラブは、夜間例会でもあるし、女性会員が現在13名と恐らく2760地区では最大であろうし、又、会是が「明るく、楽しく」であるクラブの特徴が良く出ていた例会であったと自負しております。例会前に行われた会長幹事協議会も時間が足りない程、活発な意見交換がなされ、あれもこれも犬飼ガバナーのお人柄が良く表われた楽しいガバナー訪問日でありました。

●半田ロータリークラブ



●平成9年8月21日(木)
●レストラン白山

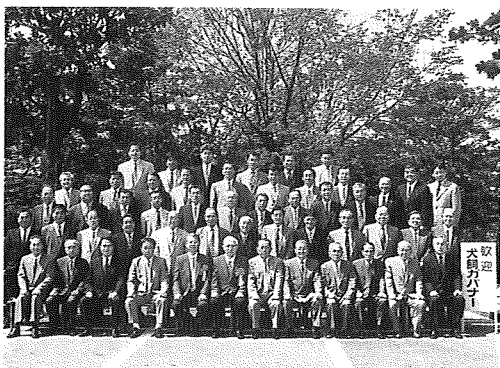
●会 長 / 石川 八郎
●幹 事 / 西尾 幸雄
●会員数 / 68名

錚々たる地区内クラブの中、年度のスタートにあたり公式訪問を賜り誠に光栄に存じます。

会長幹事協議会では既に当クラブの現状を充分ご理解頂いており、半田山車祭、新美南吉等地域文化まで話は及び、ガバナーのお心遣いを感じつつ、和やかな雰囲気の内、時が経ちました。

例会では 1) 楽しいロータリーとは 2) 会員増強の重要性 3) 職業奉仕について等大変意義深いお話を拝聴し一同感銘を受けて中、点鐘となりました。

●半田南ロータリークラブ



●平成9年8月21日(木)
●レストラン白山

●会 長 / 山本 清治
●幹 事 / 永田 明世
●会員数 / 69名

新リーダーシッププランのもと、半田RCとの共同開催による公式訪問は、厳粛の中にも和気藹々とした雰囲気で進行されました。ガバナーの“RCは何よりも楽しいものであるべき。その為の努力を怠るな。たとえば、一般の人々に理解してもらおう努力等。”、“ロータリアンとして大切なことは自分の仕事をしっかりやることである。”など感銘を受けた会でした。ご指導の数々を会員一丸となって今年度の計画が完遂できるよう努力をする決意を新たにしました。ご指導の程お願い致します。

●田原ロータリークラブ

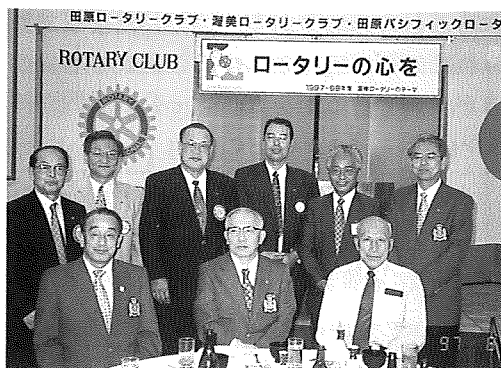


●平成9年8月22日(金)
●伊良湖ガーデンホテル

●会 長 / 能勢 寛道
●幹 事 / 山田 俊郎
●会員数 / 74名

緑のプレザーを颯爽と着こなした犬飼ガバナー、片山幹事、鈴木分区代理を迎え田原、田原P、渥美RCと初めて3クラブ合同例会を伊良湖ガーデンホテルで開催しました。ガバナースピーチではRCが直面している問題として会員増強、広報活動、職業奉仕の3点をあげ話され、又本年度の地区大会のホストクラブとして前例のない船上大会を開催することへのねぎらい、ロータリーは思いやりの心、心の半分は他人が住むものと説かれ、又懇親会では精力的に各テーブルで乾杯を重ねておられました。

●田原パシフィックロータリークラブ



●平成9年8月22日(金)
●伊良湖ガーデンホテル

●会 長 / 河合 正幸
●幹 事 / 辻 義郎
●会員数 / 76名

犬飼ガバナーをお迎えしての、渥美3クラブ合同例会も無事終りまして、満足感を味わっております。特に当日は、今年最高の暑さの中行われました。顔見知りとは言え、久しぶりにお会いする方とか、誠に和やかな内に楽しく例会が出来ました。これがロータリーの原点でも有る、親睦の輪だと思いつく感じがしました。犬飼ガバナーにおかれましては、私達クラブ訪問が3回目とうかがっています。夜間例会を終えまして、翌日は早朝より又お出かけとお聞きしました。ご苦勞に敬意と感謝を申し上げます。

●渥美ロータリークラブ



●平成9年8月22日(金)
●伊良湖ガーデンホテル

●会 長 / 小塚 篤
●幹 事 / 土井 憲三
●会員数 / 65名

8月22日夜間例会にて(例会場 伊良湖ガーデンホテル)3クラブ合同の犬飼ガバナー公式訪問の例会が無事に終了し内心ほっとしています。今回の公式訪問は犬飼ガバナーが地区リーダーシッププランを採用したおかげと感謝しております。クラブにとっては一年に一度のガバナーの訪問です。この機会をおおいに活用してガバナーのひととなりを勉強し、より一層親睦が深めることができガバナーを身近に感じるようになりました。会長・幹事協議会には適切なご指導をいただきありがとうございます。当クラブも若い会員の増強に、またよりいっそう活気あるクラブを目指していきたいと思いま

●名古屋空港ロータリークラブ

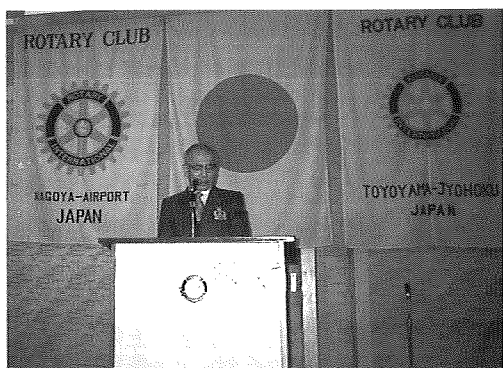


●平成9年8月25日(月)
●ホテルキャッスルプラザ

●会 長 / 三治 明
●幹 事 / 太田 哲郎
●会員数 / 68名

8月25日、豊山一城北RCとの合同例会で、犬飼ガバナーの公式訪問を戴いた。当日サイパンより早朝帰名された犬飼ガバナーは、スピーチの中で、第二次大戦の戦死者と慰霊に関するお話をされたが、その内容は終戦52年目の夏を迎えた我々にも、深い感動を受けました。そして犬飼ガバナー座右の詩集の朗読を聞き誠に感銘と心暖る例会を催させて戴きました。ありがとうございました。

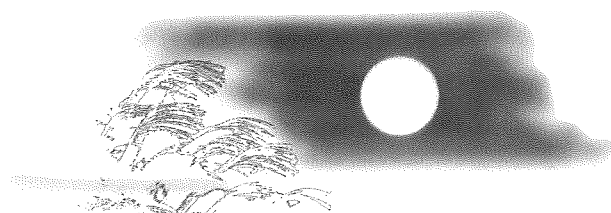
●豊山-城北ロータリークラブ



●平成9年8月25日(月)
●ホテルキャッスルプラザ

●会 長 / 安藤 克己
●幹 事 / 前野 漢
●会員数 / 56名

8月25日、犬飼ガバナーによる公式訪問が親クラブの空港ロータリークラブとの合同例会として行われた。協議会では例年のようにクラブの奉仕計画を格調高く報告し、講評を頂くつもりでその場に臨んだのであるが、今年はガバナーが「地区リーダーシッププラン」を採用されておられ、名称も「会長・幹事協議会」に変更された。一対一の対話になることが予想され、私は極度の緊張感に襲われていた。ところが着席すると犬飼ガバナーの柔和な顔と片山地区幹事のこやか司会で会の雰囲気は一変した。ややくつろいだ気持ちで今年度の方針やクラブの状況を話終えたが、正直言って私の心はガバナーに方針を上手に述べることに全力を注いでいたようである。しかし、いま考えてみれば如何に旨く報告することよりも、如何に計画を実行するかの方が大切であることをガバナー公式訪問が終わって実感している。これからがいよいよ本番である。



活発な活動が印象的

- 半田南RC
- 半田RC

尾張第一分区代理
河合 博文



去る8月5日、私としては初めての分区代理訪問を半田南ロータリークラブで行いました。

私がレストラン白山に到着したときにはすでに大西地区副幹事、加藤分区代理幹事も到着しておられまして、半田南ロータリークラブの山本清治会長並びに永田明世幹事のお出迎えをうけて別室にて山田副会長、石川副幹事を加えての懇談に入りました。山本会長のお人柄で和やかな訪問の開始となり私も一安心致しました。創立17年のまだ若いクラブですが会員数も70名を越え大変明るい印象を得ました。8月の第1例会でもあり誕生祝等の行事がにぎやかに行われ、私の卓話もスムーズに進み例会終了後クラブ協議会に入りました。印象に残ったのは各委員長さんが委員会活動について大変熱心にご報告をされ、活発な委員会活動が行われている様子が手にとる様に判りました。

続いて8月7日に半田ロータリークラブを訪問致しました。会場は先日の半田南ロータリークラブと同じレストラン白山で行われました。石川八郎会長、西尾幸雄幹事のお出迎えをうけ、さらに中村次期会長、六鹿副会長と共に例会前の懇談を行いました。例会はやはり第1例会という事で誕生祝が行われ和やかな雰囲気の中で私の卓話に入りましたが、田中パストガバナー、松本パストガバナーがお見えで緊張を致しました。

クラブ協議会も石川会長の議事進行が順調で又各委員会活動の報告も大変よく判り、さすが伝統のあるクラブだという事を痛感した次第です。

両クラブ共に大変格調の高い分区代理訪問が出来ましたこと、ご協力の賜と感謝致しております。

真夏の渥美路

- 田原RC
- 田原パシフィックRC
- 渥美RC

東三河分区代理
鈴木 省三



東三河分区の分区代理訪問は、渥美路から始まった。今年の地区大会をホストする田原クラブからである。例会場は、蒲郡信用金庫田原支店の三階会議室、懐しい、16年前頼まれてここで、「ロータリーを斬る」を一席やって、物議を醸した事を思い出す。幸い、そんな古い会員は何人もいなかった。

渥美半島は人口の割にロータリアンの多い所で、田原から伊良湖の先までに三クラブ、石を投げればロータリアンに当たるぐらいであるが、人情が濃い。

昔は奥郡（おくごおり）と呼ばれ、僻地扱い^{へき}をされたが、今は違う。近代的な道路設備が進んで、スバラシイ観光地である。勿論景色の良い事は、言うまでもない。が本当に良いのは人間である。そしてメロンがうまい。

地区大会では、2500人のお客様に、ご満足頂く様に全会員一丸となって頑張っておられ頭が下がる。

コホストの田原パシフィッククラブは、華山会館で夜間例会、平均年令50才の活気あるクラブである。

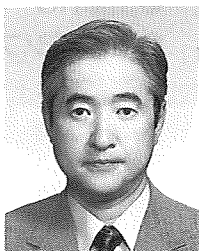
一番奥の渥美クラブは、会員人事が入会順という和気あいあいのクラブ。どのクラブも分区代理を熱烈歓迎、分区代理放談をまじめに聞いてくれる、卓話・アッセンブリーで少しは、皆様のお役にたてたかと反省しきりである。

然も、今度は緑色のブレザーをぬいで、もう一度来て、もう一席やって欲しいと頼まれ、分区代理になって良かったなあ、と思いながら帰途につく。

渥美の人は、ヨイショもうまい。

合同例会の継続を

名古屋名東ロータリークラブ
会長 須賀 康夫



1997～'98年度 RI第2760地区 犬飼栄輝ガバナーの方針の第一番目に『新リーダーシッププラン』があげられています。

これは分区代理の任務を、より強化・拡大することによってガバナーは、公式訪問でエネルギーや時間を使いすぎることなく、地区内のいろいろなニーズに、できる限り対応することができるようにということで、今回ガバナーが英断されたものと思われます。

勿論、各クラブにはガバナーの公式訪問の前に分区代理の公式訪問があります。これまでガバナー公式訪問の際、おこなっていたクラブ協議会は、今回は分区代理によっておこなわれました。

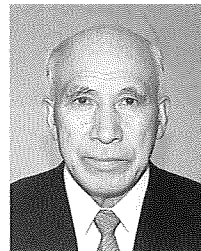
そのために分区代理は、それなりの用意をなされてきておられるので活発な質疑応答もあり、有意義なクラブ協議会でした。

一方、合同例会では事前に相手クラブの担当者との打ち合わせが必要となり、そのためにコミュニケーションもできます。また合同例会当日は、相手方のクラブの友人・知人と再会したり、この機会に新しい友人・知人ができたりで楽しい例会となりました。

このような合同例会は、すでに3年前から南太平洋地域やカリブ海地域、それにアメリカのジョージア州などで試験的におこなわれていて評判も良かったようです。日本には現在34の地区があり、この方法を採用している地区は、数地区だけときいていますが、私達のRI第2760地区では是非継続してもらいたいと思っています。

「飛鳥」でお待ちしています

田原パシフィックロータリークラブ
会長 河合 正幸



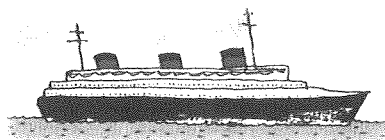
田原パシフィックロータリークラブも誕生して8年目を迎えました。研修セミナーや、会長幹事会に出席させて頂くたびに、職責の重さを痛感致しています。

先般の分区代理の訪問も誠になごやかな内に楽しく過ごし、これも、鈴木分区代理のお人柄かと思います。

今年度は、何はともあれ地区大会が田原で行われ、私達パシフィックロータリークラブがコホストクラブとして大会が盛大に行われるよう協力して準備を進めております。当日は三河港トヨタ岸壁に接岸した豪華客船「飛鳥」を会場に大会が開催されます。今から皆様のお越しを心からお待ち申しています。

さて、当クラブは創立以来「楽しく、若々しく、積極的、活力あるクラブ」をカラーにして思いやりの心、楽しい活動、出席率の向上を目標に活動を進めています。

「ロータリーの心」を、あなたの住む所に、私達の世界にそこに住むすべての人々に、グレン・キンロス会長の提唱されていますように、お互いに気配りや、思いやりの心を育て持ち、世界から飢餓や貧困が無くなるようテーマは、あまりにも大きい身近かなところ、出来ることから地道な活動を続けて、社会に貢献して参りたいと思います。



1997～'98年度 第1回青少年活動委員長会議

日時/1997年8月2日(土) 会場/名鉄グランドホテル



「新世代を対象とする活動の推進を」

本年度、国際ロータリー第2760地区の青少年活動委員長会議が、8月2日(土)午後5時より名鉄グランドホテルにおいて開催されました。

各委員会からの現況報告に続き、9月15日開催の「新世代のためのロータリー園遊会」について加藤委員長より説明がありました。

インターアクト現況報告

地区インターアクト(小)委員会 副委員長 萩本 鉄夫
地区には現在13のクラブがありますが、1地区の全国の平均は15クラブであり、また青少年に対する指導育成はロータリーの最も大切な活動の一部でもありますので、あと2～3クラブ増えることが望ましいと思います。経費など考えまして複数のR.C.で協同提唱されるのも一つの方法であります。13インターアクトクラブでは顧問の先生方の指導、ロータリアンの適切なアドバイスを心得て活発に活動をしています。

インターアクトクラブでは地域社会でのボランティア活動と国際理解のための活動を義務づけられています。毎年7月に開催されますインターアクト地区協議会で前年度の活動状況を発表致します。

国際理解を深めるための活動として、地区では今年も36名の会員をシドニーにて8日間のホームステイを含む10日間の海外研修旅行を実施しました。

青少年の皆さんの心に一生のこるこのプログラムは大変に好評でありましてロータリーの誇り得るプログラムの一つであり、私はこれを「夢と感動」のプログラムと呼んでいます。

新世代のための月間を迎えて

地区ロータリーアクト(小)委員会 委員長 石川 敬
去る7月9日(水)、第1回地区青少年活動委員会が開催され、犬飼ガバナーより今年度の、地区の活動方針が発表され、各々のクラブが独自のカラーをもってアクティブな青少年活動を展開してほしい旨の伝達がなされました。

地区行事では、「新世代のための月間」に当たり、「新世代のためのロータリー園遊会」が計画されています。知識の里明治村で、新世代の若者が国籍を越えて語り合い、理

解を深めることは、大変すばらしい事です。新しい時代に向かっての、新しい行動は必ずや新しい成果を与えてくれるものと確信します。若い英知は常に行動することにおいて、成育されて行くものと思います。21世紀は新世代の人々が中心となって地球は変化することでしょう。

今、わたしたちの地区内R.A.Cは、10クラブ、237名(7月現在)で活動が展開されています。その内、とくに昨年より海外研修、全国RA研修に加え、新世代間の地区外交流を拡大する目的から国内研修がスタートされました。10クラブより50名内外のメンバーが一度に参加する対外交流研修は他にありません。今年は、静岡地区との交流研修、更に国内研修受け入れホストが予定され、RA活動はメンバー達の発想と努力により年々充実した活動が展開されています。今ひとつの願いは新設クラブの創立です。今年地区内RCのご配慮により、新しいRACが出来ますよう願っています。

ライラセミナーへ新世代に参加の機会を!

地区ライラ(小)委員会 委員長 石田 喜運
当地区のライラの活動も歴代関係者の皆様のご尽力により、第5回ライラセミナーに於て地区内全クラブから受講生が参加をし地区事業として初期の目的を達成をし、今後は更なる充実したセミナーへの活動が求められています。

第6回ライラセミナーは犬飼ガバナーの『新世代は21世紀からの留学生である…』との思いと青少年活動委員会テーマ『新世代と共にロータリーの心を!』をコンセプトにホストクラブの豊橋ゴールデンRCと共に参加した若者にとってセミナーが有意義な機会になるべく鋭意準備に務め、実りあるセミナーを開催できるよう念願しております。

セミナーの趣旨は参加した若者達による自由闊達な意見交換の中から意見の抽出と問題提起を図り、受講生により『新世代の21世紀への提言』として若者の考えを社会に発信をしたいと思っています。

是非、各クラブの地域から新世代をセミナーに参加する機会を与えて頂きたく、クラブ会長、幹事及青少年活動委員長の皆様をお願い致します。

何卒、新世代に『ロータリーの心を!』そしてライラセミナーにご理解とご協力をお願い申し上げます。

1997～'98年度 職業奉仕委員長会議

日時/1997年8月5日(火) 会場/名鉄岡崎ホテル

地区職業奉仕委員会 委員長 宮本 昌幸



本年度国際ロータリー第2760地区の職業奉仕委員長会議が、平成9年8月5日(火)午後3時30分より、名鉄岡崎ホテルにおいて開催されました。

会議には、犬飼ガバナー以下特別出席者(地区役員・委員)と地区内各クラブの職業奉仕委員長のご参加のもと、総勢87名が出席し、この一年の任期をどのように活動すべきかをテーマに、犬飼ガバナーを始め役員からのアドバイスを受けて活発な討論が行われました。当日の基調講演者として、ガバナー・ノミニーでリンナイ(株)社長の内藤明人氏をお招きし、海外への企業進出にかかわる職業奉仕の大切さについて、ご講演をして頂きました。

会議の内容(要旨)

挨拶「年度方針と実践活動について」

ガバナー 犬飼 栄輝

地区の運営について色々な意見が出る中で、職業奉仕を中心に考えるという意味に共感致しました。やはり人間は、その職業において立派でなければならない。

完璧であろうと努力することがロータリアンとしての第一条件であると思います。

ロータリーには、職業分類で1クラブ1業種という原則があります。これは業界の代表であるという責任重大なことでありますので、職業奉仕を通して自分の立場とクラブの立場を併せて考え、思いきり自分なりの発想で委員会の運営を考えていただきたいと思います。

この一年、職業奉仕委員会の活性化のために格別のご尽力を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、ご挨拶と致します。

指導要領「職業奉仕を勧める方法」

地区職業奉仕委員会 委員長 宮本 昌幸

ロータリーの活動は、親睦のエネルギーを奉仕エネルギーに転換させ、ロータリーの原点である職業奉仕の基本原則を相手の立場と利益におき、奉仕の理念を心がけながら自分の職業に徹することであると思います。

ロータリーは地域社会の直面するさまざまな問題を解決するために、できるだけ理想にかなったプロジェクトを計画し、積極的な活動の推進を計ることになりました。

職業奉仕の真価と影響力は、個人の職業関係ばかりでなく、よりよい社会に貢献するための理想に沿った活動を推進することであり、そのために5つの(小)委員会の設置を期待するところでございます。

講演「職業奉仕としての私の海外企業進出への考え方」

ガバナー・ノミニー 内藤 明人

実業家としての私の哲学は、リアリズム70%とロマンチリズム30%を基本において、自分だけのことを考えるのではなく、人・金・物にチャンスをうまく利用しながら、社会の流れの中で人の心をつかんで誠心誠意努力をすることです。

ロータリーの活動も全身全霊で尽くし、それを糧に学んだことを本職に繁栄して悔いのない一日を送ることだと思っています。

海外進出にあたっては、現地の生活・文化向上のために自分の職業を通して、どう貢献できるかを真っ先に考え職業奉仕の精神をもって相手の国の立場を、国民の感情を考えながら進めていくことが円満にいく方法であると思います。

勿論、主義の違う国と国との関係でありますので、簡単に行くものではありませんが、後悔しないように、思いやりの心をもってこれからも仕事をしていきたいと思っています。

○討論(質疑応答)の時間を30分間程設け、岡本カウンセラーのリードにより活発な意見交換など行うことができました。

○会議終了後、引続き懇親会が開かれ、相互に親睦と友好を深めて頂くことができました。

約1時間程ご歓談頂きましたあと午後6時50分閉会となりました。



1997～'98年度 広報委員長会議

日時/1997年7月24日(木) 会場/名鉄グランドホテル

地区広報委員会 委員長 吉水 正溥



本年度クラブ広報委員長会議は7月24日14時から15時30分まで開催され、犬飼ガバナー、福島地区副幹事、各分区分代理ら地区役員と地区内76クラブの広報委員長、そして中部経済新聞社の主要な方々の参加を得ました。

開会挨拶	地区広報委員	中野 靖子
ガバナー挨拶	ガバナー	犬飼 栄輝
今年の広報活動について	地区広報委員長	吉水 正溥
ガバナー月信について	地区副幹事	福島 啓氏
ロータリー広報の報道について		
	中部経済新聞社 常務取締役	中村 隆義
閉会挨拶	地区広報委員	竹倉 健治

犬飼ガバナーより「ロータリークラブの活動はPR不足もあって一般に認識されていないきらいがあり、理解されていない面も多いが、これは私達の責任でもある。今後は広報活動やPR活動を強化していきたい。しかし、より大きく見せる必要はなく等身大のPRが大切であり、マスコミには正確な資料を提供し、真実を報道してもらうことが必要だ。各クラブには積極的なPR活動をお願いしたい」と述べ広報活動の必要性を強調されました。続いて地区広報委員長より「今年度の広報活動はガバナー方針に基づいて、積極的に取り組みたい。先ず広報委員会の任務とは、広く一般世間にロータリー活動並びに歴史、綱領等の情報を提供するために適切な宣伝を行う方策を考案してこれを実施するよう、クラブ細則に謳われています。

また広報の責務については、ロータリー活動の中で成功を収めた奉仕プロジェクトや活動でロータリーの意図と業績を明らかに示すものを報道機関を通じて広報し、地域社会に広めることであり、ロータリーと報道機関との良好な関係を維持することがクラブ細則に示されています。

おかげさまで、この度報道機関として、本日まで来席いただきました、中部経済新聞社が私共の広報活動に対して、全面的にご協力が頂けることになりました。新聞のかなりのスペースを使用しまして、「ロータリー・ライオンズコーナー」として、記事は交互に、土曜日を除き毎日掲載されています。

各クラブの広報委員会は、ニュースバリュー豊かなクラ

ブ活動を新聞社に提供し掲載されますことを期待します。

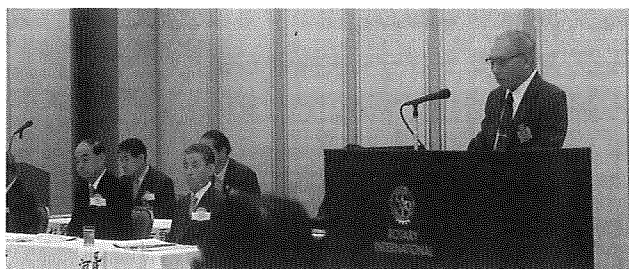
次にもう一つ広報の任務としまして、ロータリーに対して不利な世論が生じた場合に、誤解を解くよう努力をせねばなりません。

地域によってはロータリーに否定的な態度を示す傾向とか、ロータリーの声価を損ない活動の効果を制約しかねない状態や、ロータリーのプログラムに好ましくない影響を及ぼしている場合にはこれを防止し矯正するための積極的な措置を講じなければなりません。

今後共広報としましては以上のようなことにも注意を払い、ロータリーと報道機関相互の関係向上を図り広報活動、PR活動の促進に皆様方の英知と実践力でご尽力いただきたい」と今年度の広報活動方針を説明した。

次に「ガバナー月信」を担当している福島地区副幹事から同紙発行の苦勞話と今後の協力要請などが行われた。

最後に中部経済新聞社からロータリークラブ活動の報道の必要性和、資料提供の手法、掲載形式の説明などがあり、その後活発な質疑応答が行われ会議は終了した。



～かけがえのない体験・一人一家庭のホームステイ～

地区インターアクト(小)委員会
委員長 坂本 康信

日頃はインターアクトクラブの活動に、深いご理解と多大なご支援を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、今夏実施致しました第10回インターアクトクラブ海外研修派遣オーストラリア・シドニー研修のご報告を申し上げます。

今年の参加者は、41名(引率者…ロータリアン2名、顧問2名、インターアクター…男子4名、女子32名、ビデオ制作者1名)で、去る6月21日～22日、7月12日～13日の2回にわたり事前研修会を持って海外研修の目標、心構え、英会話学習(外国人講師)、オーストラリアの知識(研究発表)、ホームステイ、海外旅行の知識、歌の練習、講話(ロータリアン)、参加者の交流(親睦、チームワーク)等々を整え、7月20日地区インターアクト協議会での壮行会及び7月25日名古屋空港での出発式において、犬飼ガバナーをはじめ、地区役員・委員、インターアクト会員の激励を受けて7月25日オーストラリア・シドニーへ向けて出発し、多くのかけがえのない体験を積んで8月3日参加者全員無事帰国致しました。

今年の海外研修も、昨年の実績をもとにオーストラリア・シドニーで実施致しました。

研修の内容は以下の如くであります。

7月26日早朝シドニー空港に到着、早速バスにてボンダイ・ビーチ、市内観光(オペラハウス、ロックス等)を実施、午後Meridian(英語学校)



壮大なブルーマウンテンを見学

英会話研修
於Meridian
英語学校



修了証書授与

にてホームステイ、英語学校での学習のオリエンテーション、更に最寄りの駅まででかけ電車、バスの乗り方を学ぶ。夕方ホストファミリーと対面し1名ずつ36軒の家庭へ。今年の特徴は、ホームステイが一家族に一人と言うことが実現した事であります。

生徒達は、オーストラリア市民になり毎日各家庭より自分達でバス、フェリー、電車を利用してダウンタウンのMeridian(英語学校)まで通い、午前中は実用英会話の研修、午後は先生と町にでかけ、銀行での両替、郵便局での切手の購入等で学んだ英会話を活用し、英語にドップリつかった。

又スポーツアクティビティ(乗馬)、終日課外研修として、ブルーマウンテンのすばらしい大自然、ワイルドライフパークでオーストラリアの動物コアラ、カンガルー、エミューなどオーストラリアのすばらしさにも触れる。

更に現地学校—90年の歴史と伝統があるシドニーの有名校・カソリック系ミッションスクール Marisut Sisters' College(女子中・高校)で、



学校訪問 Marisut Sisters' College



授業参加

学校見学、日本語の授業参加、昼食会（バーベキューパーティ）、交歓会（変則バレーボール、バスケットボール）等通してオーストラリアの中・高校生との交流ができ、参加者一同最高に満足し、プログラムのハイライトでありました。

シドニーには、インターアクトクラブが存在せず交流ができませんでした。今年はシドニーロータリークラブの副会長、国際奉仕委員会の委員長、委員4名と交流の時を持つことができ、ロータリークラブとの関係ができ、今後オーストラリアのシドニー近郊のインターアクトクラブとの交流が可能になりそうであります。

ホームステイ最後の日SEL（別の英語学校）のホールに於て、ホストファミリーを招いて感謝のティーパーティを開催。坂本地区委員長及び石井団長の挨拶、高校生清水君及び堀尾さんの挨拶、坂本地区委員長より各ホストに感謝記念品の贈呈、インターアクトメンバーによるドーナツサービス、ロッカマイソウル、スキヤキソン



中・高校生との交流

グの合唱、お世話になった先生、関係者へ感謝の花束贈呈、山口委員長及びシスター・コンセプション副団長の感謝の言葉等を通して、ホストファミリーとの感動の交流を図ることが出来ました。

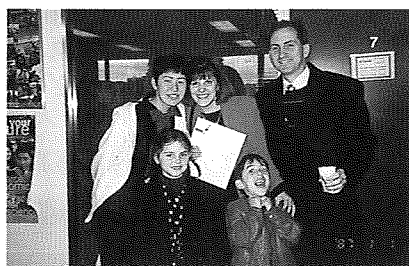
短い期間ではありましたが、貴重な体験、感動が与えられ、生徒達は日本へ帰りたくない又将来必ずくる、英語に自信がついた等は、海外研修の成果の現れでもありました。

このような素晴らしい海外研修が出来ましたことは、犬飼ガバナーをはじめ地区役員・委員、スポンサーロータリークラブの皆様方、又各インターアクトクラブの顧問、会員皆様方のご理解とご協力・ご支援の賜物であり、ここに深甚なる感謝の意を申し上げます。

誠に有難うございました。



シドニーロータリークラブメンバーとの交流



ホストファミリーと共に



ホストファミリー感謝パーティ

税制上の優遇措置のご案内

1997年7月より、ロータリアン、ロータリアン以外の個人および法人からの下記対象プログラムへの寄付につきましては、特定公益増進法人である国際交流基金に対する寄付金として扱われ、税制上の優遇措置（個人は所得控除、法人は損金算入）が受けられることになりました。

1. 寄付金額 ・ ¥300,000以上（一時払い）
2. 対象プログラム 下記教育的プログラム
 - ・ 国際親善奨学金（含むジャパン・プログラム）
 - ・ 開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金
 - ・ 研究グループ交換
3. 認証（振込時のロータリー・レートが適用されます）
 - 個人寄付（下記いずれか）
 - ・ ポール・ハリス・フェロー （年次プログラム基金 累計 \$1,000）
 - ・ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー （年次プログラム基金 累計 \$2,000～\$6,000）
 - ・ ベネファクター （恒久基金 \$1,000以上）
 - ・ 大口寄付者 （年次プログラム基金・恒久基金 累計 \$10,000以上）
 - 法人寄付（下記いずれか）
 - ・ 感謝状 （法人）
 - ・ ポール・ハリス・フェロー （個人）
 - ・ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー （個人）
 - ・ ベネファクター （個人）

注：年次プログラム基金への寄付はシェアの対象となります。

恒久基金への寄付はシェアの対象外ですが、収益は指定すればシェアの対象となります。

お申込・送金の際は「税制上の優遇措置扱い分寄付申込書・送金明細書」（個人用）（法人用）をお使い下さい。尚、国際ロータリー日本サービス・センターは入金約1ヶ月後に領収証を発行しますが、税制上の優遇措置が受けられる寄付金領収書は国際交流基金から国際ロータリー日本サービス・センター日本ロータリー奨学金委員会を通じて各寄付者宛に送付されます。

お取り扱い上のご留意点

1. 個人の場合、年度末のご寄付は12月10日までにご送金お願いいたします。
「国際ロータリー日本サービスセンター日本ロータリー奨学金委員会」口座へ12月10日必着、国際交流基金口座へ払い込む事務手続き上の時間を要しますので12月10日以後のご入金は翌年の寄付控除扱いとなります。
2. 国際交流基金発行の領収書は再発行が認められません。同領収書は確定申告時点まで厳重に保管されるようお願い致します。紛失されると優遇措置が受けられません。
3. 国際交流基金発行の領収書は所得税法施行規則第47条の2第3項第1号（寄付金控除に関する証明事項等）又は法人税法施行規則第24条第1号（公益の増進に著しく寄与する法人の証明書類）に定める書類となっております。別紙の証明書（同基金が特定公益増進法人であることを記載したもの）は発行されません。確定申告の場合、領収書のみの提出で優遇措置が受けられます。

詳しくは、国際ロータリー日本サービス・センター 財務室（Tel：03-3355-5425，Fax：03-3226-4606）宛お問い合わせ下さい。

■世界各地の災害に救援寄付を―。

R.I.より下記のような義捐金の要請がありました。それぞれのクラブで検討の上ご協力方宜しくお願い申し上げます。

★インド…洪水

インドのGujarat州で起こった大洪水で、100人以上の人々が死亡し、何千人もの人々が住居を失いました。第3050地区のガバナーは、6月20日から7月2日までの洪水が、広範囲にわたる破壊をもたらし、数地区において、少なくとも米貨1億5,000万ドル相当の被害があったと報告しています。救援活動を支援するために、Disaster Relief in District 3050宛に指定した小切手を、下記へお送りください：The Rotary Foundation, c/o Harris Trust & Savings Bank, P. O. 71169, Chicago, IL 60694-1169, USA. 更に詳しい情報は、下記にお問い合わせください：DG Ashok Gupta, India International School and International College for Girls, Gurukul Marg, SFS, Mansrovar, Jaipur, RAJ 302020, India. Telephone : 91-141-591-414 ; Fax : 91-141-592-525.

★チェコ共和国…広範囲にわたる洪水

東ヨーロッパ中部に発生した集中豪雨によりチェコ共和国の北東部が大洪水に見舞われ悲惨な状態となっています。僅か3日間のうちに、同地域の年間降雨量の35%に当たる大量の雨が降り、甚大な浸水状況をもたらしています。地域を流れる河川の洪水発生水位を7メートル以上も越え氾濫し、引き続き水嵩が増しています。現在までに、少なくとも50人の死者が出、4人が行方不明となっており、同地域の被害総額は、驚愕的な米貨10億ドルに上ることが予測されています。救援活動のために資金援助を希望されるクラブは、「Rotary District 1920 Flood Relief」と明記しご送金願います。救援資金は、口座番号03368013/0300, Ceskoslovenska Obchodni Banka, Main Branch Brno, 速達送金符号CEKO CZ PP BRN, Sumavska 33, Brno, CZ-61140, Czech Republic、或いはThe Rotary Foundation, c/o Harris Trust & Savings Bank, P.O. Box 71169, Chicago, IL 60694-1169, U.S.A. 宛にご送金願います。詳細については、Rotarian Dr. Karel Cidlinsky, Bulharska 24, Brno 12, CZ-61200, Czech Republicまでご連絡願います。電話番号：42-5-748822、ファックス番号：42-5-4521-3726、電子メール符号：cidlinsky@brn.czn.czです。

★ポーランド…悲惨な洪水

ポーランド南部の大部分の地域が全て浸水し、過去100年以上を通じ東ヨーロッパ中部において発生した史上最悪の洪水となりました。第2230地区の50万ヘクタール以上が浸水し、続いて襲来した二度目の洪水が救援活動や救助活動を妨げています。現在までに、55人の死者が出、多くの史跡や中世の遺跡の構造部に甚大な損傷を与えました。家屋、農作物、及び地殻構造への損害は、米貨7億ドルに上ることが予測されています。救援活動のために資金援助を希望されるクラブは、銀行手形の場合は、「Rotary Polish Flood Relief Fund」と明記し、口座番号10501041-0501311898, Bank Slaski Oddzial Warszawa Filla Warszawa, UI. Grojecka 81/87, 02-094 Warszawa, Poland宛にご送金願います。また小切手の場合には、ロータリー財団を受取人として、Disaster Relief in District 2230と明記され、The Rotary Foundation, c/o Harris Trust & Savings Bank, P.O. Box 71169, Chicago, IL 60694-1169, U.S.A. 宛にご送金願います。詳細については、DG Bohdan Kurowski, UI. Smetka 19/1, 10-077 Olsztyn, Polandまでご連絡願います。電話番号：48-89-527-21-81、ファックス番号：48-89-527-21-81です。

★ベネズエラ…地震

去る7月9日、ベネズエラのカリアコ (Cariaco)、クマニャ (Cumaná) およびカサネナイ (Casanay) 市に震度6.9の強大な地震が発生しました。ニュースの報道によりますと、商業用建物と2つの学校が倒壊し、61人の死者が出、数百人以上が負傷いたしました。第4370地区ガバナーから、救援および再建活動のための資金とボランティアの援助の要請がありました。救援活動のための援助資金は、ロータリー財団を受取人として、「District 4370 Earthquake Disaster」と明記され、The Rotary Foundation, c/o Harris Trust & Savings Bank, P.O. Box 71169, Chicago, IL 60694-1169, U.S.A. 宛にご送金願います。詳細については、Mr. Benjamin Hidalgo, President of the Rotary Club of Cumaná III, Manzana 6 No.95, Cumaná, Edo. 6101, Venezuelaまでご連絡願います。電話番号：58-93-516-176、ファックス番号：58-93-325-341、電子メール符号：bhidalgo@compuserve.comです。

クラブだより

マニラの奨学生に面会して

西春日井RC 堀田 正俊



フィリピン3800地区マラボンRCと提携し、1993年西春日井マラボン奨学基金財団130万円を設立登記しました。有能でも貧困のため学校へ行けない若者に奨学金を与えることも更に有効な国際社会奉仕と考え奨学基金財団を設立しました。

去る7月4日マラボンRCの25周年記念に招待され、クラブを代表して出席した機会に奨学生に面会し激励して参りました。連携している学校は国立フィリピン工科大学で、奨学生は目下5名、奨学金は一人年額にして約2万円、物価が十分の以下であることを考えても少額です。それでも、「貴方がたの援助と慈悲が無かったら今日の私たちは無かったでしょう。本当に感謝しています。」と大学が準備した感謝牌を奨学生から頂きました。

銀行預金金利が、財団を計画した頃は19%でしたが現在は半分程度になっていますので、基金を増額できればと願っています。



比・セブ島に“南RCの善意” 衣料や文房具プレゼント

(中日新聞1997.8.6)

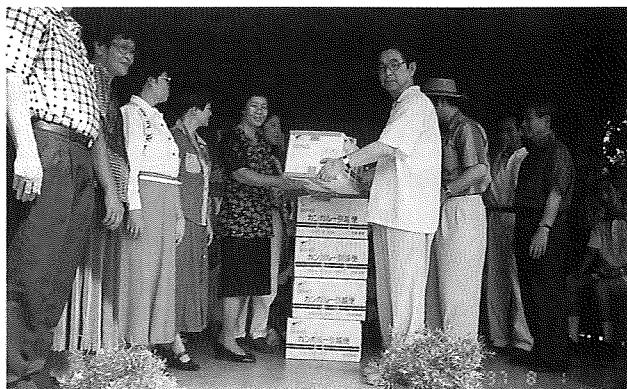
フィリピン・セブ島の人たちに日本の善意を贈ろう。名古屋南ロータリークラブ(大島規仔志会長)はこのほど、大島会長を団長に家族や熱田ローターアクトのメンバーを加えた総勢25人のミッションを派遣した。

一行は7月31日から8月3日までセブ国際空港のあるラプラプ市を訪問、ラプラプ市内にあるアグス小学校の子どもたちと近郊の生活困窮者に、段ボール20個に詰まった衣料や文房具などをプレゼントしてきた=写真。

アグス小学校との交流は一昨年から始まったが、ノートや鉛筆すら満足になく、子どもたちが石板で勉強している環境を知って、国際奉仕のメンバーが中心となって文房具

や衣料を各家庭から持ち寄り、航空手荷物として運び込んだ。

さる一日、アグス小学校の校庭で開かれた「感謝の会」では全校児童が参加して歓迎の踊りを披露、ラプラプ市教育委員会カルメリタ・デュラゴンさんが「フィリピンの一般家庭は子どもが多く、生活に苦しい人が多いので助かります」とあいさつ。大島団長は「ささやかな善意がこんなに感謝されて恐縮です。今後もできれば援助を続けたい」と答えた。



全国ロータリークラブ野球大会 3度目の甲子園出場にあたっての報告

豊田東RC 野球同好会監督 豊田 稔

豊田東ロータリークラブは92年に第2760地区で8番目のクラブチームとして野球同好会を結成し、仲間入りをさせて戴きました。結成2年目にして秋の地区大会において初優勝させて戴き以後3年連続優勝を達成致しました。

優勝すると甲子園へ行けるを合言葉に頑張りましたが、初の甲子園出場は94年(平成6年5月)で楽勝のケースが一転、魔の大逆転負けという苦い経験を致しました。

翌年は阪神大震災で全国大会は中止となり昨年2度目の甲子園出場をいたしました。前回の苦い経験を生かして途中絶対に手をぬくことなく東京狛江RCチームを9対2で破り、初の甲子園1勝を喜びあうことが出来ました。

今年の全国大会は久しぶりのトーナメントによる優勝戦までである大会で優勝するには5戦から6戦、勝ちぬかなければなりません。我々のチームも3回目の甲子園出場ということでどこまで行けるか、どこまで通用するか大いに楽しみにして参加致しました。

5月9日に甲子園に行き翌10日(土)、1回戦不戦勝で2回戦にのぞみ彦根南RCに19対1で大勝して帰った時は全員大喜びでした。4週間後に3回戦、と準々決勝を戦うべく甲子園へ向う時は誰れもが勝てるという気持で一杯でした。我がチームはエースの小松投手が非常に良く地区大会では

それほど打たれた事がなく、そこへきて福岡選手が第2のエースとして急成長しておりましたから1日ダブルヘッターでも戦力的におちることなく戦えるし、打線も良く打つから大丈夫と考えていました。

3回戦、福島西RCと当たり、前半順調に我々のペースで、試合が進み勝てると、思っていた矢先に守備の乱れから投手のリズムが狂い、後半3イニングで12失点となり、13対7で負ける結果となりました。監督としては、くやしさをいりも大いに反省させられる点がたくさんあり、良い体験をしたと思います。

試合後相手チームの話を聞くと、甲子園出場のために毎週練習をしたといい、我々の練習不足による息切れと守備の乱れは当然の結果で、勝とうと思ったら練習あるのみと思知らされました。次のチャンスには、この経験を生かし大いに練習を積んで、どこまでやれるか挑戦したいと思っています。



米山記念奨学金 1千万円達成クラブに感謝状

1997年6月30日現在、普通・特別寄付金の合計累計額が、1,000万円以上に達したクラブに感謝状が贈呈されます。感謝状が贈られるクラブは次の通りです。

1千万円達成クラブ

名古屋名南ロータリークラブ
豊橋ゴールデンロータリークラブ

2千万円達成クラブ

あまロータリークラブ
犬山ロータリークラブ

3千万円達成クラブ

名古屋瑞穂ロータリークラブ
岡崎ロータリークラブ

四大奉仕部門功労賞

グレン・キンロス RI 会長は、1997-98年度から授与される新しい賞を設定しました。ロータリアン個人の草の根レベルでの奉仕活動を表彰するものです。各ロータリークラブは、1人の候補者をノミネートできます。候補者はクラブ、職業上、地域、国際奉仕活動において模範的な参加をされた人が対象です。受賞者には襟章ピンまたは認証状が贈られます。

投稿のお願い

各クラブや同好会の活動、皆さまの楽しい体験等についての原稿をお寄せください。
写真だけでも結構です。
また、ガバナーマンスリーレターで取り上げて欲しい記事・事柄や、ご意見もお待ちしています。

ガバナー事務所まで。

新 ポール・ハリス・フェロー 7月分

氏 名	所 属 R. C.
古屋 宏一	(知 多)
佐々木勝巳	(岡 崎)
鈴木 省三	(蒲 郡)
田中 省三	(名古屋名南)
石原 健一	(安 城)
神谷 次男	(安 城)
土井 松男	(豊 橋 北)

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



箕輪 吉人様 (名古屋R.C.)	8月17日
富永仁三郎様 (名古屋北R.C.)	8月19日
小島 力様 (あまR.C.)	8月20日
大隈 孝一様 (名古屋R.C.)	8月23日

「神様にもらった勲章」

中野 靖子



平成5年6月16日、皇太子様と雅子様のご結婚された次の週に、小林美奈子様と私の2人は、名古屋名北ロータリークラブへ、最初の女性メンバーとして入会しました。この時、この地区既存のクラブで、女性メンバーの入会は、初めてということでした。当時、名北ロータリークラブの会員数は約80名、その中でたった二人の女性メンバーですから、とても大切にされて戴きました。

入会してまず、「出来る限りホームクラブに出席しよう」と自分に約束をしました。毎週出席していれば、ロータリーのことや、メンバーのお顔やお名前が判ってきますし、年長者の方々も、いつも何か一言やさしくお声をかけてくれます。

しばらくすると、メンバーのお医者様が「もう、ロータリーは慣れましたか？最初は判らないから、嫌なことがあるかも知れないけど、3年間は辛抱して下さい。3年位すればロータリーの本当の良さが判ってきますからね」と、言われました。

どのお方も、どのお顔も実に柔和なのです。毎週の例会日が大きな優しさに包まれて、かつてない幸せな時間が、過ぎて行きました。

私は11年間、名古屋でタウン誌「月刊なごやか」を発行してきました。タウン誌の存在価値は非常に希薄なもので、「有っても、無くてもいい。でも有った方がいいんじゃないの？」という、理解者に支えられて生きています。

タウン誌を支えるのはペンの力ではなく、ひとえに経済力です。創刊以来、私の仕事といえば、繁華街を中心に、毎日、一軒、一軒、飛び込みの営業を続けて来ました。営業活動は厳しい男性社

会で、生きていくための原点だと思います。毎日が厳しい顔との対面でした。

そんな日々の中、ある日突然「ロータリークラブへ入会しないか？」というお話を戴きました。そこで私は、尊敬する大先輩、京都山科ロータリークラブの岡村博氏にご相談を致しました。すると、間髪を入れず「絶対にお受けすべきです。貴女の仕事が世の中に認められた何よりの証拠です。第一、ロータリーは入りたくても入れる訳ではありません。会社の将来の為にも、これ以上のチャンスはありませんよ」の強いお勧めで、時期尚早、漠然とした不安感を払拭し、決心しました。

一年後、「京都山科ロータリーで卓話をしてほしい」と、私に卓話の依頼が入りました。「女性がロータリーに入るのなら、自分はやめる。と言っているコチコチ頭に、貴女のロータリーでの体験談を話して下さい」ということでした。多感な青春時代を過ごした京都で「故郷に錦を飾る」とは、少々大げさですが、卓話が無事務めました。

次の年は京都洛東ロータリークラブで、2760地区、地区大会のロータリーミーティングで、その次の年度は3つのクラブで、拙い私の卓話をさせて戴き、私は何か大きな力に包まれ、護られている自分を意識しました。

ロータリーに入れて戴いて「お前のやってきた事は間違っていなかったよ」と、神様に勲章をもらったような気がします。いつも崖っぷちを走り続けて来た私が、今はもう、自分の仕事に誇りを持って生きられる経営者に変身しました。

各クラブを訪問して

地区会員増強委員会
委員長 山田 元



8月会員増強月間に卓話依頼のあつた16クラブ。あまRC、尾張旭RC、岡崎城南RC、豊川RC、名古屋西南RC、名古屋栄RC、名古屋空港RC、豊山一城北RC、小牧RC、一宮中央RC、春日井RC、田原パシフィックRC、知立RC、稲沢RC、岡崎南RC、名南RC、名北RC、(水野委員) 各会長の下、犬飼ガバナーの会員増強のご方針を忠実に守り、増強になみなみならぬ努力をして、会員増強の推進をはかっておられました。ただ残念な事は女性ロータリアンが在籍しておられるクラブは2クラブのみでした。特筆すべきは名古屋西南クラブに女性の副幹事がテキパキと事を成し遂

げておられ、来期は2760地区に女性幹事の第1号が誕生すると、会長は話しておられ、心強く思い、他のクラブの卓話の中に前記の事を話し、各クラブに女性会員の推せんを強く要望して来ました。又、古参クラブへ行った時、長期ロータリアンが女性の入会を拒む、「男女7才にして席を同じうせず」の観念を頑として持っておられるので、若い会員は追従する傾向がある一方、比較的新しいクラブは女性ロータリアンについては一決するようです。又あるクラブでは会員総数81名に対し、シニアが53名在籍しておられ、犬飼ガバナーのご方針のとくに若い新会員の加入を促進して、「元氣印」のクラブとなることを期待するにほど遠く、長期ロータリアンの世代の交替が難しいと、会長は話しておられました。何はともあれ、どのクラブへ行っても welcome、welcome で、とても卓話し易いように設定して頂きました。誠にありがとうございました。

訪問クラブの益々の発展を祈念し、誌面を借りて重ね重ね感謝申し上げます。

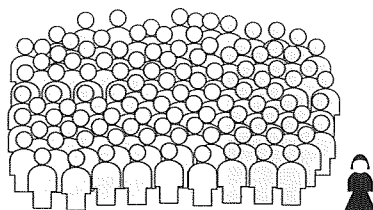
国際ロータリー第2760地区

女性会員数一覧

1997年7月1日現在

	クラブ名	会員数	女性会員数
尾張第一分区	半田	68	0
	常滑	71	0
	東海	59	0
	東知多	67	0
	半田南	69	0
	知多	49	0
	6 R C	383	0
名古屋第一分区	名古屋	221	0
	名古屋西	142	0
	名古屋南	127	0
	名古屋港	128	0
	名古屋東南	89	0
	名古屋中	162	0
	名古屋瑞穂	102	0
	名古屋大須	101	0
	名古屋栄	80	0
	名古屋名駅	102	0
	名古屋名南	89	13
	名古屋西南	54	8
	12 R C	1,397	21
名古屋第二分区	名古屋北	112	0
	名古屋東	114	0
	名古屋守山	86	3
	名古屋和合	108	0
	名古屋名東	83	5
	名古屋名北	71	2
	名古屋千種	65	0
	名古屋昭和	69	0
	名古屋錦	64	10
	名古屋東山	54	0
	10 R C	826	18

	クラブ名	会員数	女性会員数
東尾張分区	瀬戸	82	0
	犬山	83	0
	江南	73	0
	小牧	72	0
	春日井	81	0
	尾張旭	66	0
	名古屋空港	68	0
	瀬戸北	69	0
	岩倉	41	0
	豊山一城北	57	0
	10 R C	692	0
西尾張分区	一宮	92	0
	津島	87	0
	尾西	61	0
	一宮北	84	0
	稲沢	65	0
	あま	104	0
	西春日井	64	0
	尾張中央	50	0
	一宮中央	75	6
	9 R C	682	6



0.9 %

	クラブ名	会員数	女性会員数
東三河分区	豊橋	133	3
	蒲郡	76	0
	豊橋北	112	2
	豊川	80	0
	田原	72	0
	豊橋南	73	0
	新城	68	0
	渥美	65	0
	奥三河	39	2
	豊川宝飯	67	0
	豊橋ゴールデン	83	0
	田原パシフィック	76	0
	豊橋東	37	0
	13 R C	981	7
西三河第一分区	岡崎	121	0
	豊田	93	0
	岡崎南	115	1
	豊田西	97	0
	岡崎東	93	0
	豊田東	97	0
	岡崎城南	77	0
	豊田三好	35	0
	8 R C	728	0
西三河第二分区	刈谷	85	0
	安城	91	0
	西尾	76	0
	碧南	80	1
	一色	51	0
	高浜	55	3
	知立	57	0
	西尾 KIRARA	72	0
	8 R C	567	4
合計 76 R C		6,256	56

刈谷ロータリークラブの素顔

広報委員長 羽田 育哉

私達の刈谷ロータリークラブは、名古屋ロータリークラブをスポンサーとして、愛知県内では8番目に創立されたクラブで、44周年目を迎えています。現在92名のメンバーで、明るく活動しております。幸いなことに、チャーターメンバーがまだお一人ご健在で、いつも良き助言を頂いております。クラブのメンバー構成では「平均年齢が高い」きらいがありますが、老壮青の連携をよくして、50周年に向けての準備を心がけているところです。

“明るく楽しいクラブ”が刈谷ロータリークラブのめざすところで、ここ数年では、例会が月に5回ある場合は、最終例会を夕食例会として、会員相互の懇親を深めるよう努めております。当然のことながらアルコール有りの例会です。この夕食例会が、ややもすると形式に流れがちな例会に（プレーキを掛けて）いるように思われます。花見例会は、初代会長故石田退三氏の記念の建物である十朋亭においておこなわれ、友好を深めると共に先輩を偲んでおります。観劇例会は、家族例会とし毎年100名以上が参加し、家族間の親睦も図っています。ロータリークラブが健全に発展していけるのも家族、殊に婦人の理解と協力があることと考えます。又、クリスマス家族会も盛大におこなわれており、明るく楽しいクラブとなっ



恒例となった
小中学校への植樹

ております。これらのクラブ運営の基礎をなすものとして、近年諸運営マニュアルが整備されているのも刈谷ロータリークラブの特長といえます。

これまでの大きな事業としては、愛知県が2760地区になって2回目の地区大会、又地区内初めて、全クラブ参加でおこなわれた第5回ライラセミナーのホストを勤めました。これらの事業は一人として欠けることの無い全員参加の事業でした。

奉仕活動も活発に展開しており、豊橋ロータリークラブの提唱された530運動をいち早く取り入れ、その後刈谷市のメイン事業に発展し、市民ぐるみの活動になっています。クラブとしては、春秋の2回530実践活動として駅周辺の清掃をおこなっています。環境保全としての緑化運動は、教育委員会と連携を取りながら市内各小中学校への植樹を恒例化し、毎年それぞれの学校から感謝していただけるようになりました。地球から緑が無くなり、地球の砂漠化と言われている今こそ緑化に力を入れる時との考えから、地元だけでなく世界に目を向け、刈谷ロータリークラブ独自のWCS活動として、第3860地区のフィリッピン・ミンダナオ島ダバオ市（人口約200万人）のダバオロータリークラブの緑化ニームツリー・プロジェクトに協力、この3年で約45,000本のニームツリーが植えられました。市当局やダバオ市民から喜ばれ感謝されております。このことは昨年おこなわれたライラセミナーのメインテーマ“救え！地球を”の基にもなっています。

一方、文化面では、市の図書館にロータリー文

庫を設けて、主に写真集の図書を毎年贈り、本年度までに412冊の書物となりました。館長の話では市民の皆さんが新しい図書の入庫を楽しみに待っておられるとのこと。顕彰事業も継続しており、最近では警察署員を対象とし、警察活動の励みにもなっているとの評価をいただいています。

以上、刈谷ロータリークラブの素顔を紹介させていただきました。今後とも皆様のご指導をお願い申し上げます。

●刈谷ロータリークラブ

創立年月日	1954年 3 月 8 日
RI加盟承認年月日	1954年 3 月30日 (日本で118番目)
認証状伝達式	1954年10月23日
チャーターメンバー	24名〔現在1名〕
特別代表	盛田秀平氏
スポンサークラブ	名古屋ロータリークラブ
事務所・例会場	刈谷商工会議所
例会時間	月曜日12:30～13:30
テリトリー	刈谷市・知立市

同好会紹介

名古屋大須ロータリークラブ スキー&マリン部会

幹事 高橋 広壽

スキー&マリン部会は、今から9年前の昭和63年に、それぞれ「スキー部会」「ウインドサーフィン部会」として発足致しました。両部会共、クラブ発足5年目でもあり、メンバーは皆若い人達が多く、大変活動も活発に行なっておりました。後にウインドサーフィン部会は、ヨットなどを楽しんでおられる方々共、一緒に楽しくやることとなり、「マリン部会」と改称致しました。さらに、スキーもマリンも両方に所属しているメンバーが多く、冬のシーズンはスキー、夏のシーズンはマリンと言うことで、結局「スキー&マリン部会」として再発足し、今日に至っております。

冬のスキーは長野県の山田温泉を定宿として、



山田牧場スキー場に毎年行っております。昼はスキー、夜は温泉と美味しい料理と美味しいお酒で雪見酒、皆さんと夜遅くまで楽しい会話に花が咲きます。夏はウインドサーフィンを楽しんだり、メンバーのヨットで三河湾をクルージングしながら、お酒と料理を持ち寄ってのひと時はとても楽しいものです。太陽の日射の下、青い海、透き通る風、白いセールでのクルージングはとても気分爽快です。

スキーもマリンも、自然とのふれあいにより気分転換にもなり、明日の仕事にも、ロータリー活動にも力が沸いてまいります。

最近では親睦を主体としての活動が中心となっております。簡単ではございますが活動報告とさせていただきます。



2つだけの 職業分類

ガバナー 犬飼 栄輝

もう1年以上前になりますが、ロータリークラブとは少し異なるある親睦団体が、名古屋でパネルディスカッションを開きました。

「女性から見た理想の男性管理者」というのがテーマで、パネラーは生保、百貨店、旅行会社、民放などのキャリアウーマンと女性作家。私はコメンテーターの1人として出席しました。異業種交流の狙いもあり、参加者は会員を中心におよそ200名でした。

テーマがテーマですから、議論がどのように進んでゆくのか、下手なゴルフのように球がどこかへ行ってしまったらどうしようか、私はヒヤヒヤしながら壇上にいました。

案ずるより生むが易しと言います。パネラー1人ひとりのお話は非常に冷静かつ論理的で、大変勉強になりました。

ポイントをいくつかまとめてみます。

- 女性からみて最低の管理者は、肩書だけで仕事をし、なかみがカラッポの人。でもそういう人に限って、部下や下請けには威張っています。反面すばらしいと思うのは、能力があり、実力で仕事をしている人。ただしゴマスリは下手な人が多いようです。
- 女性があこがれるのは、いつも仕事に情熱を持ち、目を輝かせ、体を張って努力する人です。いい意味での「会社人間」でしょうか。無気力無感動で仕事はのんびり、ゴルフやプロ野球の話には夢中になる締まらないオジさんが沢山います。床屋や病院に行くため会社に来ている人もあります。私たちでさえその違いは分かるのに、会社は何故分からないのでしょうか。
- 一番いやなのは責任を絶対にとらない上司。どこの支店でもミスとか、お客様のクレームはあります。「どうしてそんな間違いをおこすんだ」と部下を叱るだけの上司がいます。反対に、お客様の処へ一緒に行ってお詫びし、会社の方の後始末は私がやるか

ら心配するな、と言ってくれる人もいます。女子社員は、幅広く責任をとっていただける上司の背中に、手を合わせています。

- やはりネクラはいけません。朝から気分が沈みます。明るさと笑顔の上司のもとでは社員の能力は3倍になります。
- 女だからと甘やかさないでほしいと思います。必要なことや大事なことは、きちんと教えて下さい。女性も「特権」に甘えている時代ではありません。

ここまでは平穏無事でしたが、最後に豪速球が飛んできました。すなわち、世の中には何百という職業があり、みんなが分業で働いて、この経済社会を維持しています。しかし大きく分ければ、職業分類は先ず2つだけだという仮説です。それは、「人を使う人」と「人に使われる人」です。

もちろん両方兼ねている人も沢山います。

例えば支店長は本社の役員に使われていると同時に、店の人を使っています。

そこで問題は、使う立場と使われる立場の違いです。人に使われている人は、自分の上司や先輩がどんな気持ちで使ってくれているか、3日接すれば分かります。何とか1人前にしてやろうと思っているのか、お前なんかアテにしていない、いつ辞めてもいいと思っているのか、これは肌で感じられます。

しかし人を使っている人は、自分の部下がどんな気持ちで働いているのか、3か月たっても1年たっても分からないのです。本当にやる気があるのか、もっといい処があったら変わろうと思っているのか、早く5時になって仕事から解放されたいと願っているのか、その処がよく分かりません。

この大きなギャップは何だろうか、このすき間を埋めるにはどうしたらいいのかということが、最後の議論になりました。

職場の人間関係の確立は、口で言うほど簡単なことではありません。でもそれは、自分自身の職業奉仕の決め手の一つです。

人を権力や命令だけで動かせると思うのは単純過ぎます。キャリアウーマンの本音の発言に、いろいろ思うことがありました。

1998～'99年度のガバナーノミニーに 刈谷ロータリークラブ野村重彦君

R.I.2760地区ガバナーは、9月6日地区指名委員会より、1998～'99年度のガバナーノミニー候補に、刈谷ロータリークラブ野村重彦君を指名した旨報告を受けました。

ガバナーノミニー候補推薦期限の9月3日までに各クラブよりその推薦がありませんでしたので、1998～'99年度のガバナーノミニーは刈谷ロータリークラブ野村重彦君に確定したことを宣言します。

のむら しげひこ
野村 重彦

1931年10月20日生

所属クラブ 刈谷ロータリークラブ
職業分類 シニア・アクティブ（元歯科医）
役職 医療法人至誠会 理事長
勤務先住所 〒448 刈谷市桜町4-24
勤務先電話 0566-23-2222
勤務先Fax 0566-23-2324
自宅住所 〒448 刈谷市神明町2-29
自宅電話 0566-22-9388
自宅Fax 0566-22-2678

ロータリー略歴

1970年 刈谷ロータリークラブ入会
1972年～73年 同幹事
1988年～89年 同会長
1996年～97年 地区ライラ（小）委員長
1997年～98年 地区ライラ（小）委員
ポールハリスフェロー
米山功労者

文庫通信 119号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

世界社会奉仕に関する資料

- ◎「中央アフリカで医療活動—RI超我の奉仕賞の広島・辻 守康君」 大下 龍介 友：1995・2月 1頁
 - ◎「ネパール農業支援の方法と効果」 小泉 忠男 友：1996・6月 1頁
 - ◎「アルゼンチンへ医療機器補充の支援」 佐藤 眞 友：1996・6月 1頁
 - ◎「ネパールの識字教育」 大城 尚史 友：1997・2月 1頁
 - ◎「人類への奉仕に向かって—ロータリー国際理解賞受賞スピーチ要約」 緒方 貞子 友：1996・9月 3頁
 - ◎「日系比国青少年育英会バギオ基金より」 松原 治 友：1996・12月 2頁
- [上記申込先 ロータリー文庫（コピー）]

ビデオテープ

- ◎「『バギオ基金』のご案内」 バギオ基金 1995年 26分
[上記購入：バギオ基金 TEL(03) 3350-4502 借用：ロータリー文庫]
- ◎「なにか私にできること—シスター・テレジア海野の第二の人生—」 健全映画鑑賞会 1995年 52分
[上記購入：健全映画鑑賞会 TEL(0425) 83-3166 借用：ロータリー文庫]

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03) 3433-6456・FAX(03) 3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリー文庫

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'97年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分 区	半 田	100	5	68	68	
	常 滑	98.92	4	71	72	1
	東 海	98.32	5	59	61	2
	東 知 多	93.23	4	67	68	1
	半 田 南	98.48	5	69	69	
	知 多	100	3	49	49	
	6 R C	98.16		383	387	4
名古屋第一分 区	名 古 屋	97.38	5	221	220	-1
	名 古 屋 西	97.41	5	142	147	5
	名 古 屋 南	99.16	5	127	130	3
	名 古 屋 港	100	4	128	131	3
	名 古 屋 東 南	99.23	5	89	90	1
	名 古 屋 中	99.77	3	162	163	1
	名 古 屋 瑞 穂	100	5	102	102	
	名 古 屋 大 須	99.38	5	101	100	-1
	名 古 屋 栄	100	3	80	80	
	名 古 屋 名 駅	98.43	5	102	102	
	名 古 屋 名 南	100	5	89	91	2
	名 古 屋 西 南	100	5	54	55	1
	12 R C	99.23		1,397	1,411	14
名古屋第二分 区	名 古 屋 北	98.99	4	112	113	1
	名 古 屋 東	98.52	3	114	114	
	名 古 屋 守 山	98.84	5	86	86	
	名 古 屋 和 合	100	5	108	110	2
	名 古 屋 名 東	94.46	5	83	83	
	名 古 屋 名 北	100	5	71	71	
	名 古 屋 千 種	97.24	5	65	67	2
	名 古 屋 昭 和	98.07	3	69	72	3
	名 古 屋 錦	97.84	5	64	66	2
	名 古 屋 東 山	99.62	5	54	54	
	10 R C	98.36		826	836	10
東尾張分 区	瀬 戸	100	5	82	84	2
	犬 山	100	5	83	84	1
	江 南	100	5	73	75	2
	小 牧	91.62	5	72	72	
	春 日 井	100	4	81	82	1
	尾 張 旭	98.86	4	66	66	
	名 古 屋 空 港	100	3	68	68	
	瀬 戸 北	99.68	5	69	69	
	岩 倉	95.50	5	41	41	
	豊 山 一 城 北	96.78	5	57	56	-1
	10 R C	98.24		692	697	5
分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'97年 7月1日	当 月	増 減
西尾張分 区	一 宮	99.78	5	92	94	2
	津 島	100	4	87	88	1
	尾 西	96.77	3	61	62	1
	一 宮 北	98.20	4	84	84	
	稲 沢	97.60	5	65	69	4
	あ ま	100	3	104	103	-1
	西 春 日 井	100	5	64	64	
	尾 張 中 央	100	5	50	51	1
	一 宮 中 央	96.80	5	75	75	
	9 R C	98.79		682	690	8
東三河分 区	豊 橋	99.32	5	133	133	
	蒲 郡	94.85	4	76	76	
	豊 橋 北	99.38	5	112	110	-2
	豊 川	95.15	5	80	80	
	田 原	100	4	72	74	2
	豊 橋 南	99.05	5	73	73	
	新 城	93.02	4	68	68	
	渥 美	93.49	5	65	65	
	奥 三 河	91.93	4	39	39	
	豊 川 宝 飯	98.73	5	67	67	
	豊橋ゴールデン	99.70	4	83	83	
	田原パシフィック	98.41	5	76	76	
	豊 橋 東	100	5	37	37	0
	13 R C	97.16		981	981	
西三河第一分 区	岡 崎	100	5	121	124	3
	豊 田	99.23	5	93	94	1
	岡 崎 南	99.76	4	115	115	
	豊 田 西	98.94	3	97	97	
	岡 崎 東	98.02	5	93	93	
	豊 田 東	96.84	4	97	98	1
	岡 崎 城 南	100	5	77	78	1
	豊 田 三 好	100	3	35	35	
	8 R C	99.10		728	734	6
	刈 谷	100	3	85	90	5
西三河第二分 区	安 城	98.86	4	91	91	
	西 尾	96.56	5	76	76	
	碧 南	98.98	5	80	81	1
	一 色	98.04	5	51	51	
	高 浜	99.23	5	55	55	
	知 立	100	5	57	59	2
	西尾KIRARA	100	3	72	72	
	8 R C	98.96		567	575	8

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増 加 会 員 数 61名

当月末会員数 6,311名

減 少 会 員 数 6名

当月平均出席率 98.50%

差引純増会員数 55名